

## サンキュー大作戦

学校長 大竹 貴子



新年あけましておめでとうございます。新しい年、平成29年がスタートいたしました。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。昨年は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、年が明けると毎年、つい見てしまうのが箱根駅伝です。今年もいろいろな選手が健闘する中、青山学院大学が3連覇を果たし優勝しました。この大学の監督が毎年作戦名を掲げ、レースに取り組んでいることはとても有名ですが、今年の作戦名が「サンキュー大作戦」でした。理由はいろいろありますが、「感謝」の気持ちをもってほしいという思いが強かったのではないのでしょうか。優勝するため一番頑張ったのはもちろん選手ですが、チームを支えてくれる様々な方々がいてこそ成しえることです。また、「感謝する」ということは、周りの方々と繋がっている、自分が大切にされているということも実感できると思います。支えてもらっているからこそ、みんなと繋がっているからこそ安心して思いっきり力を発揮できるのではないか、そんなことを考えた箱根駅伝でした。さらに「ありがとう」は言う人も言われる人も笑顔になる言葉です。本校も「ありがとう」でいっぱいになってほしいと思いました。

さて、学校では、総合的な活動の時間や生活科で、「まち」にかかわる活動を行っている学年や学級があります。1年生は通学路を探検して自分たちの安全を見守ってくださっている学援隊の皆様がいることに気づき、交流をさせていただきました。3年生は「まちのすてきな人たちをさがそう」という活動の中で、「今宿コミュニティガーデン」を知り、雑草抜きや焼き芋大会の準備のお手伝いをさせていただきました。さらに、焼き芋大会のポスターを作ったところ喜んでくださり、「おうちの人と遊びに来てください。」と誘っていただきました。当日、家族で焼き芋大会に参加した児童がたくさんいました。自分たちが準備した焼き芋大会で、大勢の子どもからお父さんお母さん世代、おじいさんおばあさん世代の方々までが楽しそうに過ごしていることに、子どもたちはとても満足するとともにこの場を作っているまちの方々の思いを知ることができました。また、一緒に行ったご家族の方も地域の方々とかかわれたことを喜んでくれたそうです。

12月には、3年生全員でいちょうの落ち葉拾いを行いました。そこではボランティアで掃除をしている方々に出会うことができました。お話を伺ったところ、「いちょうの落ち葉は滑りやすく危険で掃除も大変だから、木を切った方がよい」という考えの方がいるそうです。しかし、まちのシンボルでもあるいちょうの木を守り、まちの景観を大切にしたいという思いから皆さんは掃除をしているということでした。さらに、この活動が中沢小学校で行われている「落ち葉アート」にもつながっており、子どもたちが楽しめる活動もしてくださっていることを知りました。子どもたちは、学援隊の方だけでなく、他にもまちの安全や景観を守るために、子どもたちのために活動している方々がたくさんいることを知りました。そして、まちの方々とつながることで、自分は家族だけでなくまちの方々に支えてもらい生活ができているということに気づき、自分たちもこのまちのために何かしたいと思うことができていたようです。まさに、まちの方々と子どもたちが「ありがとう」で響き合うすてきな活動になりました。

1月には、1年生が老人会の皆様から昔遊びを教えていただく会も予定しております。

今後も、まちの皆様を支えていただき、子どもたちが地域と触れ合う機会を多くして、実り豊かな活動を推進してまいります。そして「感謝の気持ち」をもつ子どもたちを育てていきたいと思っております。

本年も、どうぞよろしく願いいたします。

